

「茶のくに・やめ」マラソン大会の終了について

「茶のくに・やめ」マラソン大会は、今年で38年目を迎え、1,200人が参加いただく大きな大会へと成長しました。

しかしながら、矢部川堤防道路の折り返しをコースとしていることから、道路幅員が狭く、両サイドが急斜面であるなど、設定コースに危険性があること。また、ゴール付近では、沿道応援者及び観光施設来訪者で混雑し、走者と交錯する恐れがあること。これらの問題点は、以前より関係者から指摘されており、抜本的な解決策を求められていました。

さらには、体育館等メイン施設（会場）を持たないことから、参加者の更衣室や待機場所、接待所をテントで対応しなければならず、寒風や雨天時などは参加者にご不便をかけています。そして、昨年からは、直近の中核駐車場が利用できなくなり、遠方に駐車場を確保し、シャトルバスを運行しなければならない状況となりました。

これらのことで、関係団体と協議を重ねた結果、「茶のくに・やめ」マラソン大会が抱えるこれらの問題は、事故が発生するリスクを多く含んでおり、これらを解消することは困難であると判断しました結果、前回をもって「茶のくに・やめ」マラソン大会を終了させていただくことになりました。

毎年、「茶のくに・やめ」マラソン大会を楽しみに参加いただいた多くの選手の皆様、長年にわたり大会運営にご協力をいただいた関係者の皆様には、心より感謝を申し上げますとともに、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、今後は、安全且つ八女の特色や魅力を最大限に生かしたマラソン大会を模索することとしており、八女市はもとより県南を代表するマラソン大会として、再出発したいと考えております。そして「茶のくに・やめ」の大会名を残していきたいと考えております。

「茶のくに・やめ」マラソン大会会長

八女市長 三田村 統之